

**心身共に健康で自ら考え、正しく判断し、
自主的で創造性豊かな児童を育成する**

学校教育目標（目指す子ども像）

- ・た 他を思いやる子
- ・か 体をきたえ、安全に気配りする子
- ・す 進んで学習し、深く考える子
- ・な 仲良く、力をあわせ最後までやりぬく子

学校経営の努力点 < 信頼される学校づくりに向けて >

学校教育目標を具現化するために、次の事項を学校経営の努力点とする。

あわせて全教職員が「チーム」意識をもって学校経営に参画し、日々の教育活動に協働してあたることによって、高砂の子どもや保護者、地域の人たちの信頼に応えていく。

**1) 学校教育目標の具現化に向けたカリキュラム・マネジメント
「高砂の教育課程」を編成し、よりよい授業実践をすすめる。**

- ① 学習指導要領に沿った教育課程編成を進める。SDGsの視点を取り入れ、特色ある教育活動等工夫し、6年間の学びを見通した教育課程を組み立て、授業を通して検証する。
- ② 子どもの発達段階に応じた学習内容の指導と評価方法を工夫し、授業実践を行う。
- ③ 子どもが自ら学び、自ら考える力を育てるために、体験的な学習や課題解決的な学習などを多く取り入れた学習活動を行う。また、授業を通して、子どもの自主性・豊かな想像力、表現力・感性、粘り強く取り組む力などを育む。

2) 学校生活の基礎となる学級・学年づくりを重視する。

- ① 児童に学級集団の一員であるという自覚を持たせたり、社会性を身につけさせたりするとともに自分も、他も大切に作る児童を育てる。
- ② 特別な支援を必要とする児童などについて、全教職員で共通理解をもって指導にあたる。（児童指導担当教諭を中心とした支援体制を活かす。）
- ③ 学校教育目標を鑑み、各発達段階にふさわしい学年目標・学級目標を設定し、指導に努める。各担任は、自分の学級だけでなく、常に学年全体を視野に入れた学級経営を行う。

3) 教師としての識見や専門性を高めるため、研鑽に努め、力量の向上を図る。

- ① 個々の教職員の特性を生かし、校務分掌を組織し、協働して教育活動にあたり、「高砂の学校力」の強化につなげる。
- ② 校内研究や校内研修を活性化させ、同僚性を高め、指導力向上に努める。各種研究会や研修会への参加を促し、指導力の向上に活かす。
- ③ 学習指導要領の内容や社会からの教育的ニーズを把握し、日々の教育活動にあたる。
- ④ 教育公務員としての自覚と責任を持ち、常に信頼を得られる言動に努める。

4) 児童の健康維持・増進、食育や安全指導の充実と危機管理体制の強化に努める。

- ① 自他の生命の尊重、健康の維持・増進については、食育も含め、児童の発達段階に応じて適切な指導を行う。
- ② 校舎内外の環境整備に努め、安全で機能的な環境づくりを図る。
- ③ 危機管理体制を強化し、災害や緊急時だけでなく、日々の学校生活においても安全確保に努める。
- ④ 新型コロナウイルス感染症感染防止を念頭に、ガイドラインに則り、常に安全に留意し教育活動を計画・実施する。

5) 地域に開かれた学校づくりに努める。

- ① 学校から情報を発信し、保護者や地域の理解や協力を得るよう努める。
- ② 開かれた学校づくりのため、学校教育活動を保護者や地域に公開する。
- ③ 地域の幼稚園・保育園や小・中学校、高校、大学、高齢者などと可能な範囲で連携した活動を深める。
- ⑤ 地域行事などへの参加や協力を通して、連携を深める。
- ⑥ 学校運営協議会の開始に伴い、基礎作りを行う。

6) 個に応じた指導・支援の充実に努める。

- ① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援の充実に努める。
- ② 外部関連機関との連携や協力を指導や支援に生かす。
- ③ 個別指導・支援やティームティーチング（T・T）を取り入れ、学習を支援する。